



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 フルテック株式会社
コード番号 6546

上場取引所

東・札

URL https://www.fulltech1963.com

代表者（役職名） 代表取締役社長
社長執行役員（氏名） 古野 重幸問合せ先責任者（役職名） 取締役専務執行役員
管理本部長兼経営企画室長（氏名） 田中 康之（TEL）(011)-222-3572

半期報告書提出予定日 2024年8月8日 配当支払開始予定日 2024年9月3日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	6,922	7.5	381	97.3	416	91.5	275	98.3
2023年12月期中間期	6,442	7.0	193	—	217	—	138	—

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 294百万円 (60.9%) 2023年12月期中間期 183百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益	
	円	銭	円	銭
2024年12月期中間期	51	25	—	—
2023年12月期中間期	25	84	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	12,466	—	6,588	—	52.8	—
2023年12月期	11,997	—	6,406	—	53.4	—

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 6,588百万円 2023年12月期 6,406百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2023年12月期	—	10.00	—	21.00	31.00
2024年12月期	—	10.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	18.00	28.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2023年12月期期末配当金の内訳 普通配当18円 創業60周年記念配当3円

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	14,000	9.5	520	16.0	550	11.1	335	40.0	62	41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社ワイズ・コーポレーション、除外 1社(社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期中間期	5,367,800株	2023年12月期	5,367,800株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	150株	2023年12月期	150株
③ 期中平均株式数(中間期)	2024年12月期中間期	5,367,650株	2023年12月期中間期	5,367,650株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります
- ・決算補足説明資料につきましては、8月下旬までに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	12
(収益認識関係)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加等により緩やかな回復基調となりました。その一方で、地政学的リスクの高まりや物価上昇等による世界的な景気下振れリスクも懸念されており、その先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、新規部門においては選別受注・採算管理の徹底を継続し、収益基盤であるストック市場においては、リニューアル需要の掘り起こしのために自動ドアエンドユーザーとの「つながり」を創出・強化する施策に取り組み、また、お客様へのサービス向上と同時に省人化を実現する保守サービス「Fi-R」(IoTを活用し、従来の年3回から年1回点検を可能とする保守サービス)の拡大による保守契約率の向上に注力しております。

以上の結果、当中間連結会計期間における業績は、売上高は6,922百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益は381百万円(前年同期比97.3%増)、経常利益は416百万円(前年同期比91.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は275百万円(前年同期比98.3%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、当中間連結会計期間より「自動ドア関連」の区分に含まれている「リニューアル」のうち、建具リニューアルを「建具関連」に区分変更したため、遡及適用後の数値で前年同期比較を行っております。

① 自動ドア関連

新規部門における大型物件の売上計上、リニューアル受注及び保守契約台数の堅調な増加により、売上高は4,138百万円(前年同期比5.2%増)となりました。利益につきましては、工事損失引当金戻入額の計上及びリニューアル売上の増加等により、セグメント利益(営業利益)は1,047百万円(前年同期比12.0%増)となりました。

② 建具関連

新規販売における大型物件の売上数が増加し、売上高は2,354百万円(前年同期比11.7%増)となりました。利益につきましては、選別受注や採算管理の徹底及び仕入価格上昇に対する価格転嫁の取り組みの効果により利益率が改善し、セグメント利益(営業利益)は155百万円(前年同期は6百万円のセグメント損失(営業損失))となりました。

③ その他

前年のセキュリティゲートの大型物件による反動減の一方で、新規連結子会社の売上が加わったことにより、売上高は429百万円(前年同期比7.3%増)となりました。利益につきましては、子会社株式取得費用の計上等により、セグメント利益(営業利益)は12百万円(前年同期比61.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産額は、12,466百万円となり、前連結会計年度末と比べ468百万円の増加となりました。これは仕掛品が391百万円減少した一方で、現金及び預金が360百万円、電子記録債権が274百万円、のれんが97百万円、投資その他の資産の「その他」に含まれる保険積立金が93百万円増加したこと等によるものであります。

負債総額は、5,878百万円となり、前連結会計年度末と比べ286百万円の増加となりました。これは未払法人税等が129百万円、1年内返済予定の長期借入金が113百万円増加したこと等によるものであります。

純資産総額は、6,588百万円となり、前連結会計年度末と比べ182百万円の増加となりました。これは配当金の支払により112百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により275百万円、その他有価証券評価差額金が18百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、2,813百万円となり、前連結会計年度末に比べ180百万円増加しました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動の結果獲得した資金は622百万円(前年同期比7.4%減)となりました。

収入の主な内訳は、棚卸資産の減少額442百万円、税金等調整前中間純利益426百万円、その他の負債の増加額194百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額498百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は254百万円(前年同期比398.2%増)となりました。

支出の主な内訳は、新規連結子会社取得による支出199百万円、有形固定資産の取得による支出51百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は187百万円(前年同期は72百万円の獲得)となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額112百万円、長期借入金の返済による支出92百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては2024年2月14日の「2023年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,652,874	3,013,372
受取手形及び売掛金	1,554,220	1,465,179
電子記録債権	616,088	890,237
仕掛品	1,767,453	1,376,340
原材料及び貯蔵品	226,845	241,006
その他	629,116	531,783
貸倒引当金	△1,680	△1,145
流動資産合計	7,444,918	7,516,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,444,697	1,479,773
土地	1,355,264	1,355,264
その他(純額)	146,237	156,757
有形固定資産合計	2,946,200	2,991,795
無形固定資産		
のれん	-	97,400
その他	543,728	527,357
無形固定資産合計	543,728	624,757
投資その他の資産		
その他	1,083,314	1,353,953
貸倒引当金	△20,173	△20,372
投資その他の資産合計	1,063,140	1,333,581
固定資産合計	4,553,068	4,950,134
資産合計	11,997,987	12,466,909

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,279,210	916,948
電子記録債務	1,496,227	1,441,316
短期借入金	-	90,000
1年内返済予定の長期借入金	170,172	283,992
未払法人税等	121,542	251,113
製品保証引当金	1,740	1,786
工事損失引当金	224,004	218,477
その他	1,379,579	1,735,296
流動負債合計	4,672,476	4,938,929
固定負債		
長期借入金	565,600	571,521
役員退職慰労引当金	295,005	309,355
退職給付に係る負債	44,618	36,123
その他	14,212	22,703
固定負債合計	919,436	939,702
負債合計	5,591,912	5,878,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	329,304	329,304
資本剰余金	289,864	289,864
利益剰余金	5,536,510	5,698,867
自己株式	△232	△232
株主資本合計	6,155,446	6,317,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189,440	208,439
退職給付に係る調整累計額	61,187	62,034
その他の包括利益累計額合計	250,628	270,473
純資産合計	6,406,074	6,588,276
負債純資産合計	11,997,987	12,466,909

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	6,442,251	6,922,825
売上原価	4,490,197	4,632,669
売上総利益	1,952,054	2,290,156
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	98	46
給料及び手当	674,912	690,283
賞与引当金繰入額	145,878	-
退職給付費用	27,747	25,285
役員退職慰労引当金繰入額	10,599	14,350
貸倒引当金繰入額	280	162
のれん償却額	-	3,607
その他	899,249	1,175,112
販売費及び一般管理費合計	1,758,764	1,908,847
営業利益	193,290	381,308
営業外収益		
受取利息	31	187
受取配当金	6,080	7,105
作業くず売却益	11,523	11,500
その他	7,316	20,445
営業外収益合計	24,952	39,238
営業外費用		
支払利息	669	3,171
リース解約損	206	475
その他	56	819
営業外費用合計	931	4,466
経常利益	217,311	416,079
特別利益		
固定資産売却益	-	22
投資有価証券売却益	1,072	427
営業権譲渡益	-	10,000
特別利益合計	1,072	10,450
特別損失		
固定資産除却損	1,281	365
特別損失合計	1,281	365
税金等調整前中間純利益	217,102	426,164
法人税、住民税及び事業税	197,221	226,803
法人税等調整額	△118,819	△75,716
法人税等合計	78,401	151,087
中間純利益	138,700	275,077
親会社株主に帰属する中間純利益	138,700	275,077

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	138,700	275,077
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,607	18,998
退職給付に係る調整額	4,945	846
その他の包括利益合計	44,552	19,845
中間包括利益	183,253	294,923
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	183,253	294,923

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	217,102	426,164
減価償却費	81,851	94,710
のれん償却額	-	3,607
固定資産除却損	1,281	365
保険解約損益(△は益)	-	△713
貸倒引当金の増減額(△は減少)	280	△336
賞与引当金の増減額(△は減少)	337,614	-
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,599	△5,649
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,630	△19,566
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△14,613	△5,527
製品保証引当金の増減額(△は減少)	98	46
受取利息及び受取配当金	△6,112	△7,292
支払利息	669	3,171
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,072	△427
固定資産売却損益(△は益)	-	△22
売上債権の増減額(△は増加)	△177,140	△105,943
棚卸資産の増減額(△は増加)	111,369	442,722
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,260	△498,867
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,785	98,937
その他の資産の増減額(△は増加)	100,373	99,136
その他の負債の増減額(△は減少)	46,520	194,991
その他	311	△1,015
小計	688,717	718,489
利息及び配当金の受取額	6,097	7,337
利息の支払額	△669	△3,171
法人税等の支払額	△32,144	△99,921
法人税等の還付額	10,570	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	672,571	622,733
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,600	△26,159
定期預金の払戻による収入	1,600	31,597
有形固定資産の取得による支出	△14,558	△51,179
無形固定資産の取得による支出	△24,160	△1,306
投資有価証券の取得による支出	-	△50,000
投資有価証券の売却による収入	1,312	2,667
敷金及び保証金の差入による支出	△727	△5,372
敷金及び保証金の回収による収入	1,769	2,302
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△199,131
保険積立金の積立による支出	△8,700	△9,770
保険積立金の解約による収入	-	52,413
その他	△6,041	△692
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,106	△254,629

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	20,000
長期借入れによる収入	200,000	-
長期借入金の返済による支出	△28,016	△92,268
リース債務の返済による支出	△2,429	△2,429
配当金の支払額	△96,600	△112,774
財務活動によるキャッシュ・フロー	72,953	△187,471
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	694,418	180,631
現金及び現金同等物の期首残高	1,793,577	2,633,359
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,487,996	2,813,991

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動ドア関連	建具関連	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	2,124,751	2,108,144	4,232,896	360,068	4,592,965
一定の期間にわたり移転されるサービス	1,808,943	—	1,808,943	40,343	1,849,286
顧客との契約から生じる収益	3,933,695	2,108,144	6,041,839	400,412	6,442,251
外部顧客への売上高	3,933,695	2,108,144	6,041,839	400,412	6,442,251
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	14,793	14,793
計	3,933,695	2,108,144	6,041,839	415,205	6,457,045
セグメント利益又は損失(△)	935,180	△6,438	928,741	31,830	960,571

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「駐輪システム事業」、「環境機器事業」、「セキュリティ事業」、「付帯事業」、「商品販売事業」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	928,741
「その他」の区分の利益	31,830
全社費用(注)	△774,387
棚卸資産の調整額	△10,893
その他の調整額	18,000
中間連結損益計算書の営業利益	193,290

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動ドア関連	建具関連	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	2,301,749	2,354,755	4,656,505	393,514	5,050,019
一定の期間にわたり移転されるサービス	1,836,515	—	1,836,515	36,290	1,872,805
顧客との契約から生じる収益	4,138,265	2,354,755	6,493,020	429,804	6,922,825
外部顧客への売上高	4,138,265	2,354,755	6,493,020	429,804	6,922,825
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	11,727	11,727
計	4,138,265	2,354,755	6,493,020	441,532	6,934,553
セグメント利益	1,047,223	155,693	1,202,916	12,408	1,215,324

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「駐輪システム事業」、「環境機器事業」、「セキュリティ事業」、「付帯事業」、「商品販売事業」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,202,916
「その他」の区分の利益	12,408
全社費用(注)	△881,977
棚卸資産の調整額	29,960
その他の調整額	18,000
中間連結損益計算書の営業利益	381,308

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当中間期連結会計期間に株式会社ワイズ・コーポレーションの株式を取得し、連結子会社化することとなったため、「その他」セグメントにおいてのれん97,400千円を計上しております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

近年のトータルリニューアル推進により建具リニューアル売上が伸長していることから、建具関連事業全体の収益力を適切に把握するため、当中間連結会計期間より、「自動ドア関連事業」セグメントに含まれていた「建具リニューアル」を「建具関連事業」へ区分変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ワイズ・コーポレーション

事業の内容 組込み系制御基板の開発・設計・製造

コンピュータ応用機器のシステム企画・開発設計・製造

集中管理システム、マルチメディア関連、情報通信、PC応用製品

ソフトウェアの受託開発・製作

(2) 企業結合を行った主な理由

当社では成長戦略のひとつとして「新たな価値を付加した自動ドアの提案と自動ドア以外の新商品の開発」を掲げ、自動ドアのみならず自動ドアに関連するその他周辺機器の開発に努力してまいりました。

株式会社ワイズ・コーポレーションは、セキュリティボックスをはじめとする組込み系制御システムの企画・設計・システム開発・製造で培った確かな製品開発力を有しております。その優れた技術開発力が当社グループに加わることによって、新しい商品開発の可能性が広がるものと期待しております。また、株式会社ワイズ・コーポレーションの製品を当社の販売ルートに乗せることによって一層の業容拡大を図ることができるものと考え、株式取得を決定いたしました。

(3) 企業結合日

2024年1月16日(株式取得日)

2024年2月9日(株式等売渡請求)

(みなし取得日 2023年12月31日)

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

結合前から変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

企業結合日に取得した議決権比率	98.7 %
-----------------	--------

企業結合日後に追加取得した議決権比率(株式等売渡請求)	1.3 %
-----------------------------	-------

取得後の議決権比率	100.0 %
-----------	---------

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

2. 中間連結会計期間に係る中間連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2024年1月1日から2024年3月31日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	256,120千円
取得原価		256,120千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー等に対する報酬・手数料等 25,000千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんのご金額

101,007千円

(2) 発生原因

主に、今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

7年間にわたる均等償却

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	387,852	千円
固定資産	190,304	千円
資産合計	578,156	千円
流動負債	284,330	千円
固定負債	138,714	千円
負債合計	423,044	千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。